

恐慌から戦争へ(2)	年	組	番
	名前		
			/12問

- ① 1920年代後半、中小銀行が不良債権を抱えて経営にいきづまり、預金の引き出しで倒産する銀行があい次いだ経済の混乱。
- ② 1931年に日本の関東軍が奉天付近の柳条湖で南満州鉄道の線路を爆破し、これを中国側の仕業として攻撃を始めた事件。
- ③ ②の翌年、関東軍が清の最後の皇帝溥儀を元首としてつくった国。
- ④ 1932年に海軍の青年将校らが官邸を襲い、犬養毅首相を射殺した事件。
- ⑤ ④によって終わった、それまで8年間続いた政治。
- ⑥ 1936年に陸軍の青年将校らが大臣などを殺傷し、東京の中心部を占拠した事件。
- ⑦ 日中戦争のきっかけになった、1937年に日中両国軍が武力衝突した事件。
- ⑧ 中国で国民政府と抗日民族統一戦線を結成した、中国共産党の指導者。
- ⑨ 日本軍が占領し、多数の死傷者をだした中華民国の首都。
- ⑩ 1938年に制定され、政府が議会の議決を経ずに、戦争遂行に必要な人や物資を動員できるようにした法律。
- ⑪ 1940年にほとんどの政党や政治団体が解散して、まとめられた組織。
- ⑫ 創氏改名など、朝鮮や台湾の人々を日本人に同化させる政策。

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	

恐慌から戦争へ(2)	年	組	番
	名前		
			/12問

- ① 1920年代後半、中小銀行が不良債権を抱えて経営にいきづまり、預金の引き出しで倒産する銀行があい次いだ経済の混乱。
- ② 1931年に日本の関東軍が奉天付近の柳条湖で南満州鉄道の線路を爆破し、これを中国側の仕業として攻撃を始めた事件。
- ③ ②の翌年、関東軍が清の最後の皇帝溥儀を元首としてつくった国。
- ④ 1932年に海軍の青年将校らが官邸を襲い、犬養毅首相を射殺した事件。
- ⑤ ④によって終わった、それまで8年間続いた政治。
- ⑥ 1936年に陸軍の青年将校らが大臣などを殺傷し、東京の中心部を占拠した事件。
- ⑦ 日中戦争のきっかけになった、1937年に日中両国軍が武力衝突した事件。
- ⑧ 中国で国民政府と抗日民族統一戦線を結成した、中国共産党の指導者。
- ⑨ 日本軍が占領し、多数の死傷者をだした中華民国の首都。
- ⑩ 1938年に制定され、政府が議会の議決を経ずに、戦争遂行に必要な人や物資を動員できるようにした法律。
- ⑪ 1940年にほとんどの政党や政治団体が解散して、まとめられた組織。
- ⑫ 創氏改名など、朝鮮や台湾の人々を日本人に同化させる政策。

①	金融恐慌
②	満州事変
③	満州国
④	五・一五事件
⑤	政党政治(政党内閣)
⑥	二・二六事件
⑦	盧溝橋事件
⑧	毛沢東
⑨	南京
⑩	国家総動員法
⑪	大政翼賛会
⑫	皇民化政策